SIRIUS

除菌水専用空間清浄システム 加湿機能付き

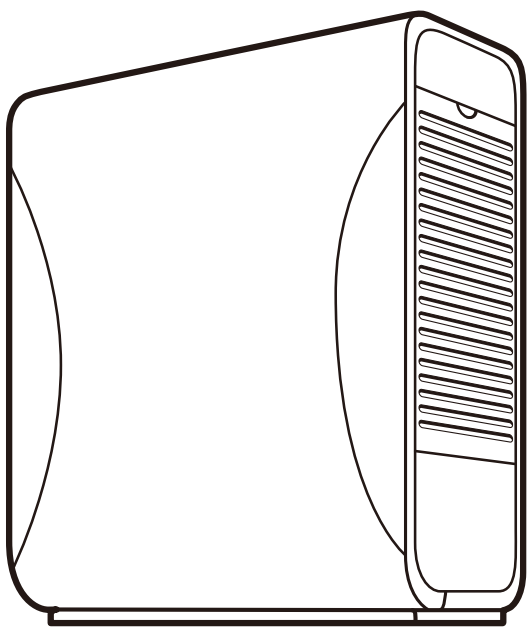
取扱説明書

品番 SVW-AQA1000

＜保証書付＞ 裏表紙に付いています。

このたびは、お買いあげいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
裏表紙の保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入を
ご確認のうえ、大切に保管してください。

J-BOY



もくじ

●特　長 ……1
●安全のため必ずお守りください …2
●知っておいていただきたいこと…5
●各部のなまえ ……7
●使う前の準備 ……9
使いかた
運転する前に……10
運転する……10
運転を止める……10
運転を切換える……10
チャイルドロック……10
タイマー予約……11
タンクの除菌水がなくなると…12
ランプの明るさと設定について…12
メロディの消しかた……12
お手入れのしかた……13
●アレルブロック除菌フィルターの
交換のしかた……16
●保　管 ……16
故障かな？と思ったら……17
●アフターサービス ……18
●仕　様 ……18
●保証書 ……裏表紙

特 長

除菌水（弱酸性次亜塩素酸水）の力で
人の集まる場所の空気を除菌します。

弱酸性次亜塩素酸除菌水の働きについて

JBOYは弱酸性次亜塩素酸水を浸透させたアレルブロック除菌フィルターに空気を透過させることによりウイルスの抑制※1効果がありますが、これにより感染等の予防を保証するものではありません。実際の浄化効果は、お部屋の状態や使用状況よって異なります。

※1：（浮遊ウイルス）【試験機関】（財）北里環境科学センター【試験方法】25m³（約6畳）の試験空間で日本電機工業会 自主基準（HD124）の性能評価試験にて実施。浮遊した一種類のウイルスで確認。【試験結果】11分で99%抑制。【試験機】SVW-AQA1000

安全のため必ずお守りください

正しく安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

●ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

	禁止		必ず実施
	分解禁止		電源プラグを抜く
	ぬれ手禁止		感電に注意（本体に表示）
	水ぬれ禁止		

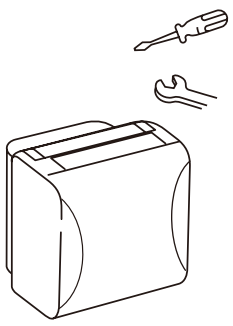
⚠警告

分解修理・改造の禁止

分解禁止

分解修理・改造はしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。修理は、お買いあげの販売店、または「総合相談窓口」(☞P18)にご相談ください。



水をかけない

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしないでください。

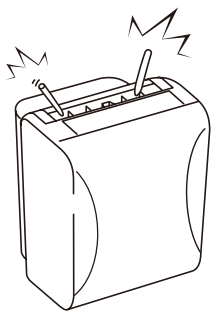
ショート・感電のおそれがあります。

異物を入れない

禁　止

吹出口や吸込グリル(吸気口)にピンや針金などの金属や異物を入れないでください。

感電や異常動作でけがをすることがあります。

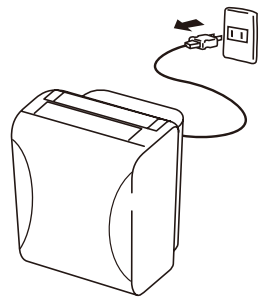


お手入れのときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

お手入れのときは、必ず電源プラグを抜いてください。

感電やけがの原因になります。



幼児の手の届く範囲では使用しない

禁　止

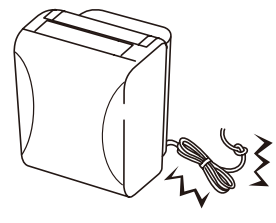
感電やけがをすることがあります。

電源コードをいためない

禁　止

電源コードを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる引っ張る、ねじることなどはしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

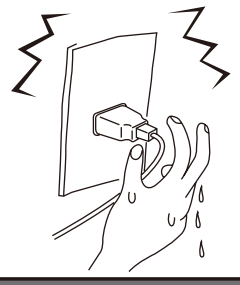


⚠警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。



交流100V以外での使用やタコ足配線をしない

禁　止

火災・感電・故障の原因になります。

タンク、本体のお手入れには塩素系タイプの洗浄剤や化学薬品は使用しない

禁　止

変形や変色することがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

実　施

差し込みが不完全だったり、いたんだプラグ、ゆるんだコンセントを使用しないでください。

感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりを取る

実　施

定期的に電源プラグのほこりを取ってください。

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

異常・故障時には使用しない

実　施

そのまま使用すると火災・感電・けがにいたるおそれがあります

すぐに電源プラグを抜いて、お買いあげの販売店、または「総合相談窓口」(☞P18)に点検、修理を依頼してください。

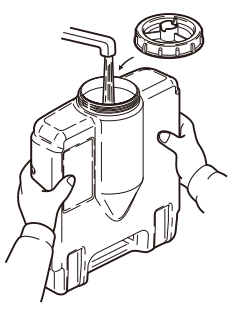
⚠注意

タンクの除菌水は毎日新しい除菌水と入れ替える

実　施

タンクは毎日振り洗いをし、常に清潔にし、必ず除菌水（弱酸性次亜塩素酸水20ppm～200ppm）を入れてください。

お手入れせずに使い続けたり、水道水、ミネラルウォーター、井戸水のみでの使用はカビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。



運転中はお手入れをしない

禁　止

運転中は、お手入れをしないでください。

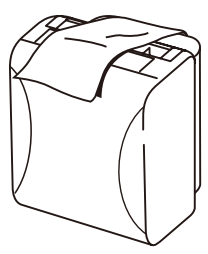
感電やけがの原因になります。

吹出口をふさがない

禁　止

吹出口をカーテンやタオルなどでふさがないでください。

故障の原因になります。

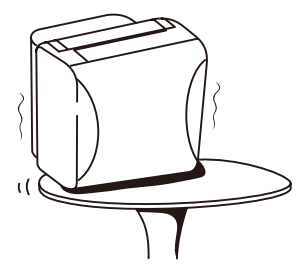


不安定なところに置かない

禁　止

不安定なところ、水平でないところには置かないでください。

倒れると水がこぼれます。



⚠注意

電気製品の上に置かない

禁　止

暖房機やテレビなどの電気製品の上に置かないでください。

転倒して水がこぼれたり､水もれすると感電･故障の原因になります。

お手入れ後は部品を確実に取りつける

実　施

アレルブロック除菌フィルター、アレルブロック防塵フィルター、タンクふた、吸込グリルなどの部品をはずしたまま使用しないでください。

故障の原因になります。

電源プラグを持って抜き差しをする

実　施

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電・ショート・発火の原因になります。

長期間使わないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

お願い

必ず除菌水(弱酸性次亜塩素酸水20ppm~200ppm)を使用

水道水や浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水のみでの使用は絶対に行わないでください。

除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

持ち運びはタンクを抜き必ずハンドルを持って行う

タンクを抜いてゆすらないように持ち運んでください。

タンクに除菌水が入ったまま持ち運ぶと本体が傾き、水がこぼれる原因になります。

壁や家具に風を直接あてない

除菌水専用空間清浄システムの風が、壁や家具に直接あたらないようにしてください。

壁・家具がいたんだり､しみの原因になります。

お手入れは定期的に行う

「お手入れのしかた」にしたがってお手入れをしてください。

汚れがひどくなると、カビの発生、悪臭、除菌水の消費量の低下の原因になります。

凍結に注意

凍結のおそれのあるときは、タンクと本体内の除菌水を捨ててください。

凍結しますと、故障の原因になります。

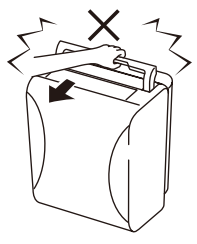
室内空間の除菌､加湿､消臭用途以外には使用しない

この製品は室内空間の除菌、加湿、消臭を目的とした空間清浄システムです。美術品や学術資料などの保存等の特殊用途には使用しないでください。

保存品の品質低下の原因になります。

ハンドルを手前に倒さない

ハンドルは手前に倒れない構造になっています。無理に倒そうとすると、ハンドルが破損します。

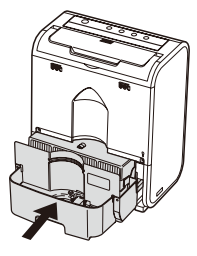


ハンドルで指をはさまない

ハンドルを動かすとき、本体との間に指をはさまないように注意してください。また､ハンドルははずさないでください。

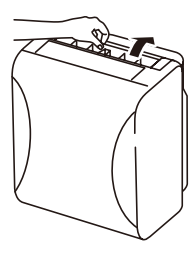
除菌水受け皿をしっかり戻す

除菌水受け皿内の除菌水を捨てた後は、除菌水受け皿をしっかりと本体に戻してください。



運転する時はルーバーを開ける

ルーバーを閉じて運転をすると本体内部に湿気がこもります。湿気がこもると除菌水の消費量の低下の原因になります。また湿度が正しく表示できなくなります。



知っておいていただきたいこと

JBOYは適応範囲が広く安心で安全な除菌水『弱酸性次亜塩素酸水』を浸透させたフィルター（アレルブロック除菌フィルター）に空気を透過させ空気中のウイルスやカビ、菌を抑制し、悪臭を低減させる除菌水専用空間清浄システムです。

必ず除菌水（20ppm～200ppmに希釈した弱酸性次亜塩素酸水）をご使用ください

水道水、浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水のみでの使用は絶対に行わないでください。
除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
温水（40℃以上）、化学薬品、汚れた水、芳香剤やアロマ、洗剤を含んだ水なども絶対に使わないでください。
除菌ができなくなったり、本体の変形や故障の原因になります。

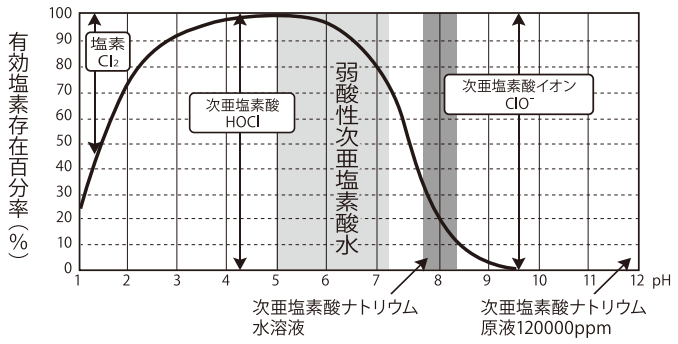
弱酸性次亜塩素酸除菌水で清潔加湿

除菌に対する適応範囲が広く人体に対し安心で安全な弱酸性次亜塩素酸水は必ず20ppm～200ppmの範囲で使用してください。
濃度が薄すぎますと使用環境によりカビや悪臭が発生する場合があります。また濃すぎますと塩素臭が強くする場合があります。
希釈方法は、除菌水の原液が3000ppmの場合は、150倍～15倍に水道水で希釈して使用します。
除菌水の原液が200ppmの場合は、10倍に水道水で希釈～原液のまま使用します。
詳しくは、各除菌水メーカーへお問い合せください。使用用途により、除菌水(弱酸性次亜塩素酸水)の濃度は下記をご参照ください。

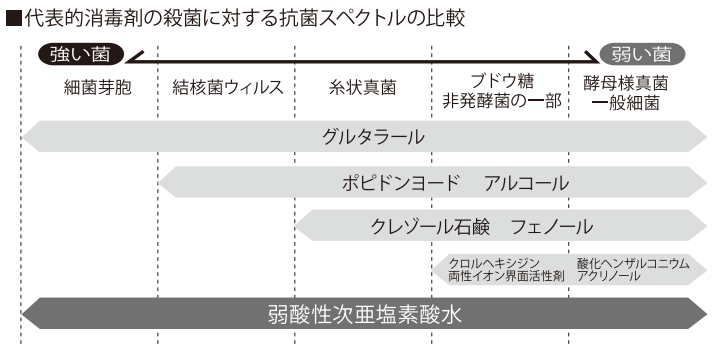
※必ず弱酸性次亜塩素酸水を使用してください。次亜塩素酸ナトリウムや塩酸などは絶対に使用しないでください。

◎用途別除菌水濃度の目安

用　　途	濃　度	原液3000ppm	原液200ppm
ご家庭での除菌 花粉対策 加湿	20ppm	150倍希釈（原液30ccに対し水道水4470cc）	10倍希釈（原液450ccに対し水道水4050cc）
通常時の菌・ウイルス対策	60ppm	50倍希釈（原液90ccに対し水道水4410cc）	3.3倍希釈（原液1350ccに対し水道水3150cc）
強力除菌・強力消臭	100ppm	30倍希釈（原液150ccに対し水道水4350cc）	2倍希釈（原液2250ccに対し水道水2250cc）
パンデミックや流行、緊急の場合	200ppm	15倍希釈（原液300ccに対し水道水4200cc）	原液のまま（4500cc）



※参考文献：「浄水の技術」丹保憲仁・小笠原紘一 共著　技術堂出版（1985）　一部加筆



弱酸性次亜塩素酸水は低濃度使用のため人体や器具にやさしい除菌水です。
除菌・消臭という役目を終えると自然分解する性質があり高い分解性と低い停留性をもった環境にやさしい除菌水です。
また、除菌スペクトル(適応範囲)が広いため、空間の除菌・消臭に最も適した機能水です。

弱酸性次亜塩素酸水の特性

ウイルス、カビ、菌、臭いの元などの有機物に接しますと若干の塩素臭(プールのような臭い)がする場合があります。
これは正しく機能している証しですが、強すぎる場合は運転を弱くするか、除菌水の濃度を薄めてお使いください。
また、薄すぎる場合は運転中であっても使用条件によっては効果が減衰し、カビや悪臭が発生する場合がありますので
直ちにタンク、アレルブロック除菌フィルターを洗浄し、上記の用途別除菌水濃度の目安に従い、タンクと除菌水受け皿の
除菌水を入れ替えて運転を再開してください。

次のような場所では使用しないでください

窓際など外気の影響を受けやすい場所、エアコンなどの風が直接あたる場所
お部屋の湿度が正しく表示できなくなります。

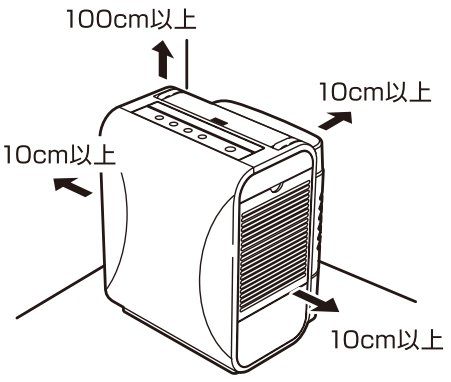
直射日光があたる場所、暖房機のそば
本体などが変形･変色する原因になります。また、温度が上がるため、カビが繁殖しやすくなります。

カーテンの近くやふとんの上
吹出口や吸込グリルがふさがれ故障の原因になります。

高いところ、傾いた場所、不安定な場所（毛足の長いじゅうたんなど）
地震や、人が触れて、落下したり、転倒する原因になります。
傾いた場所に設置すると、フロートが作動して運転が停止する場合があります。

スピーカーや電磁調理器の近くなど、磁気の多いところ
フロートが誤動作し、給水を正しくお知らせできない場合があります。

本体の周囲は
下図に示す距離をとってください。

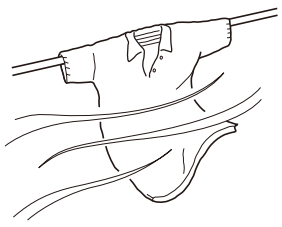


除菌水透過方式について

湯気（蒸気）は見えません
除菌水を沸騰させない除菌水透過方式なので湯気（蒸気）は見えません。

吹出口から出る風は暖かくありません
透過するときに、吸い込んだ空気の熱を奪うため、吹き出す風は暖かくありません。お部屋の広さによっては寒く感じることがあります。

湿度や温度の条件によって除菌水の消費量が変わります
室内の湿度が高い場合や温度が低い場合には
除菌水の消費量が少なくなることがあります。

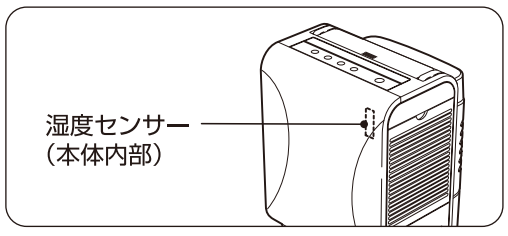


洗濯物が乾くとき、水分が気体になって放出される状態と同じ原理が**除菌水透過方式**です。
水を沸騰させていないので本体も吹出口も熱くなりません

現在湿度表示について（湿度表示はめやすとしてお使いください）

現在湿度表示は、本体内部にある湿度センサーで測った湿度の状態を表示しています。

- 同じ室内でも温度差や気流などのため、場所によって湿度が異なる場合があります。
- 運転開始直後は、本体内部の温度や湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定するまで、約20分かかることがあります。
- お手持ちの湿度計と表示が異なる場合があります。



湿度について

お部屋の湿度が上がりにくいとき

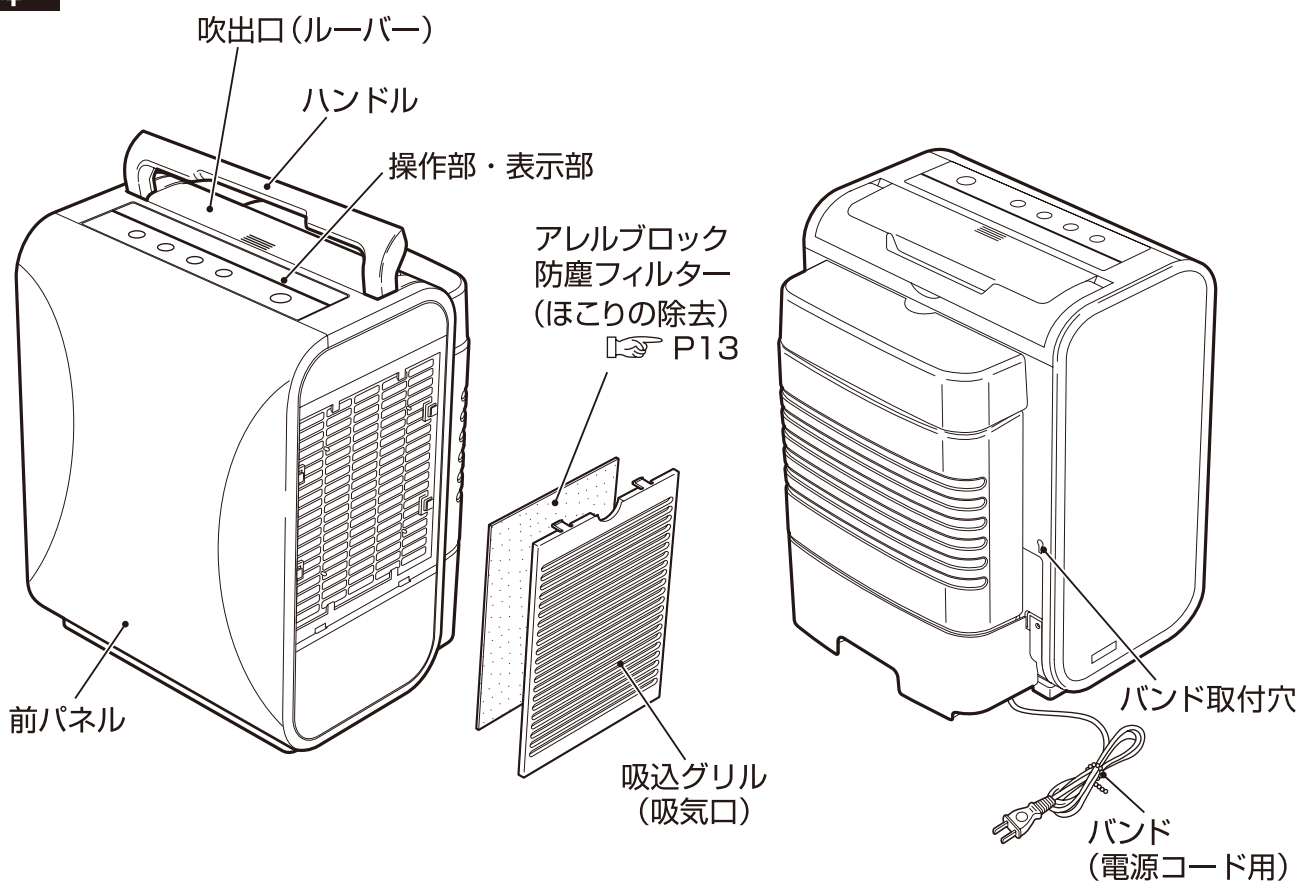
- お部屋が広すぎませんか。⇒　適用床面積をめやすとして使用してください。☞ P18
- アレルブロック防塵フィルターがほこりで目詰まりしていませんか。⇒ アレルブロック防塵フィルターをお手入れしてください。☞ P13
- アレルブロック除菌フィルターに、水あかやごみが付着していませんか。⇒ アレルブロック除菌フィルターをお手入れしてください。☞ P14~15

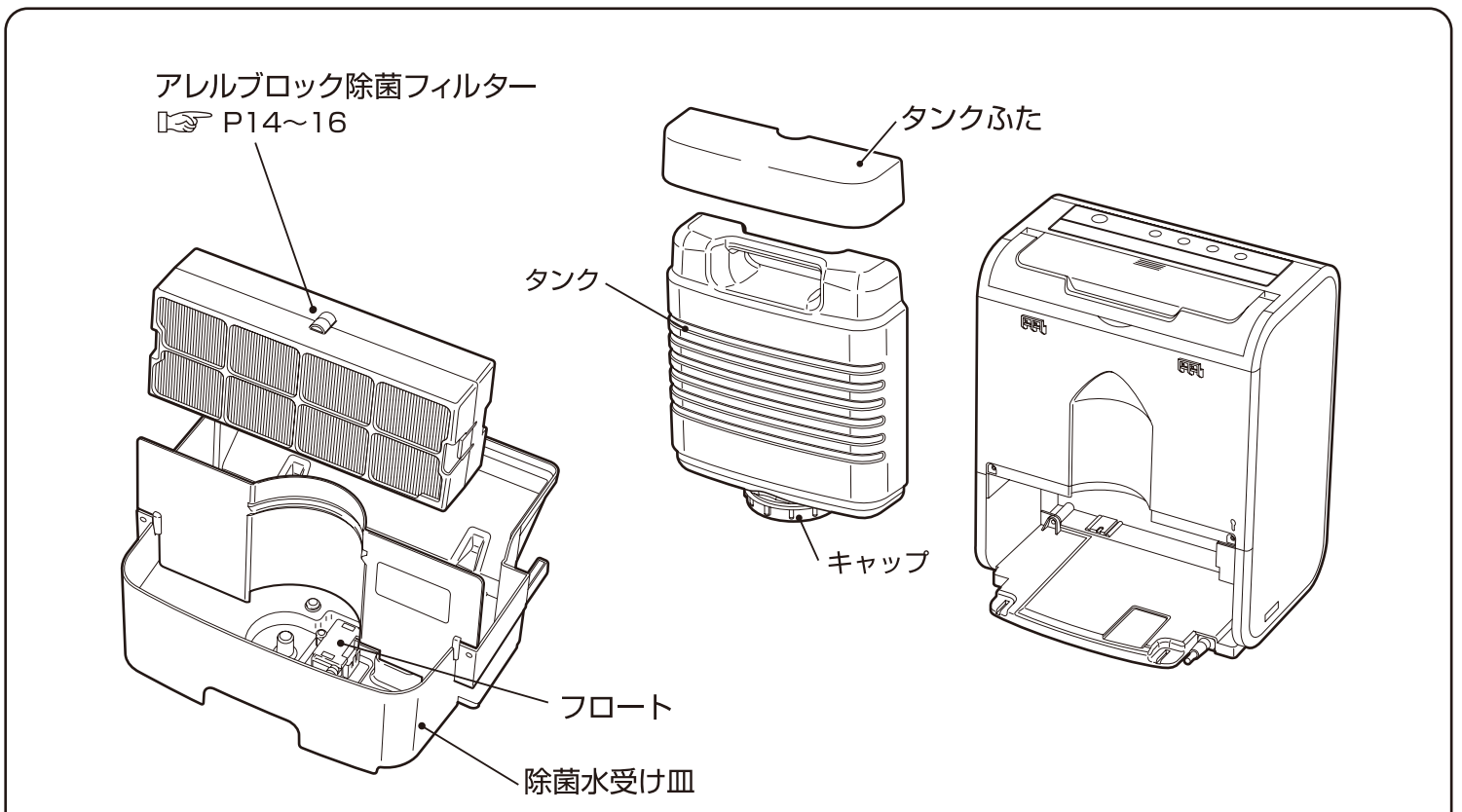
適用床面積の範囲で使用していても、お部屋の湿度が上がりにくいとき

- 換気の度合、外気の乾燥の程度、床や壁の材質によっては、適用床面積の範囲で使用していても、湿度が上がりにくいことがあります。

各部のなまえ

本体


吹出口（ルーバー）
ハンドル
操作部・表示部
アレルブロック
防塵フィルター
（ほこりの除去）
☞ P13
前パネル
吸込グリル
（吸気口）
バンド取付穴
バンド
（電源コード用）


アレルブロック除菌フィルター
☞ P14～16
タンクふた
タンク
キャップ
フロート
除菌水受け皿

操作部・表示部

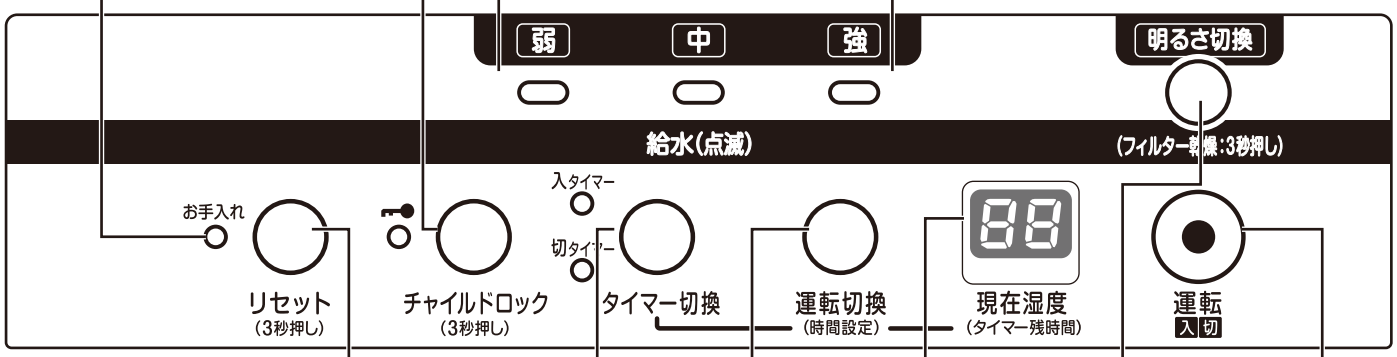
※図は説明のため全部「点灯・表示」した状態です。

お手入れランプ ☞ P14～15
・アレルブロック除菌フィルターのお手入れ時期が来ると点滅します。

チャイルドロックスイッチ ☞ P10
・チャイルドロックの『入』『切』を行います。
・約3秒間押し続けると、チャイルドロックのセット、解除ができます。

運転ランプ ☞ P10
・運転状態をお知らせします。

給水ランプ
・点滅：タンクの除菌水がなくなったことをお知らせします。☞ P12
・点灯：24時間以上、連続で運転していることをお知らせします。☞ P17
点灯した時は、新しい除菌水と入れ替えてください。☞ P9



タイマー切換スイッチ
・タイマーを設定します。☞ P11
入タイマー ➡ 切タイマー ➡ 解除

運転切換スイッチ
・運転を切換えます。☞ P10
弱 ← 中 ← 強

・タイマーの残時間を設定します。☞ P11
1 ➡ 2 ➡ 3 ➡ … ➡ 11 ➡ 12

お手入れランプリセットスイッチ ☞P14
・お手入れランプが点滅中に、約3秒間押し続けると、消灯します。
※お手入れを行ってから、お手入れランプを消灯してください。

デジタル表示例

現在湿度
(タイマー残時間)

- 現在湿度55%を表示しています。湿度は30～80%まで5%刻みで表示します。湿度表示はめやすとしてお使いください。

運転スイッチ ☞ P10
・運転の『入』『切』を行います。

明るさ切換スイッチ ☞ P12
・デジタル表示部（現在湿度）、および全てのランプの明るさを暗めの設定に変更できます。
・フィルター乾燥運転を行います。☞ P16
運転停止中に約3秒間押し続けると 中 ランプとお手入れランプが交互に点灯し、フィルター乾燥運転に入ります。

デジタル表示部
・現在の湿度（%）の状態を表示します。
・タイマーの残時間を表示します。

使う前の準備

1 本体を固定している輸送用テープをはずす。

2 タンクへの給水

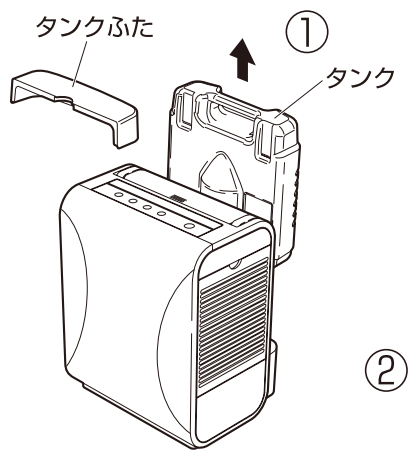
① タンクふたを外し、タンクを取り出す。

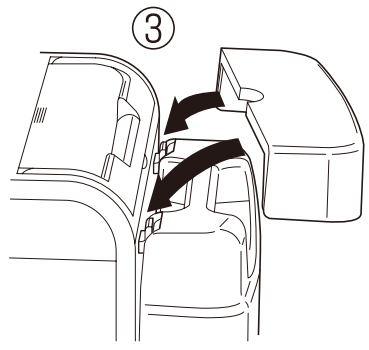
② タンクに除菌水（原液）を適量入れ
（5ページ ◎用途別除菌水濃度の目安を参照）、
水道水にて満水（約4.5L）まで希釈する。

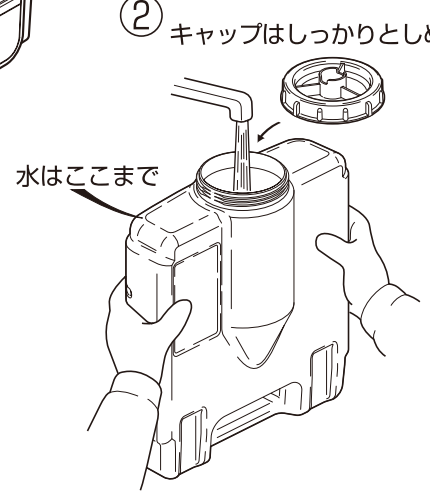
安全のため、ゴム手袋を着用のうえ、作業をしてください。
また、原液や希釈液が衣類に付着した場合、脱色することがありますので、注意して作業してください。
万一、原液や希釈液が目に入った場合は、すぐに水道水で洗い流し、医師にご相談ください。

③ キャップをしっかりとしめて、本体にセットし、
タンクふたをかぶせてください。

※タンクふたは本体のツメに引っかかるようにしっかりとかぶせてください。
タンクがはずれる原因になります。







- キャップは確実にしめ、除菌水がもれていないことを確認してください。
- 除菌水が入ったタンクを本体にセットするときは、静かにセットしてください。
  本体が破損し、水もれの原因になります。
- タンクには約4.5リットルの除菌水が入ります。

⚠注意

タンクの除菌水は毎日新しい除菌水と入れ替え、常に清潔にしてお使いください。

- そのまま使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
- 弱酸性次亜塩素酸水は、一日中使い続けると、効果・効能が自然減衰しますので、
  必ず毎日、新しい除菌水と入れ替えてお使いください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む（交流100Vのコンセントを使用）

- 初めて使用するときや、アレルブロック除菌フィルターを交換したときなど、アレルブロック除菌フィルターが乾燥した状態から運転を開始する場合は、給水後 10分 以上待ってから運転スイッチを押してください。

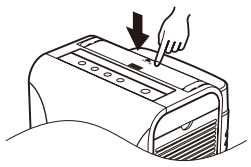
お願い

- 2シーズン目以降、初めてお使いになるときは、必ず本体や各部の点検をしてください。汚れ等が目立つときは、『お手入れのしかた』にしたがってお手入れをしてからお使いください。☞ P13～15

使いかた

運転する前に

ルーバーを押して開く。



- ルーバーの角度は3段階に変えることができます。
  お好みの位置にセットしてください。
- 運転しないときは、ルーバーを閉じてください。
  ほこりや異物の侵入を防ぐことができます。

運転する

●を押す。

運転 入切

- 運転ランプが点灯します。
- 同時にデジタル表示部が点灯し、「5」「4」「3」「2」「1」と表示してから現在湿度(%)を表示します。

運転を止める

●を押す。

運転 入切

- デジタル表示部や運転ランプが消灯します。

運転を切換える

○を押す。

運転切換
(時間設定)

押すごとに

弱 ← 中 ← 強

となります。

- 強 「強」で連続運転します。強 ランプが点灯します。
- 中 「中」で連続運転します。中 ランプが点灯します。
- 弱 「弱」で連続運転します。弱 ランプが点灯します。

チャイルドロック

1 ○を約3秒間押す。

チャイルドロック
(3秒押し)

- チャイルドロックランプが点灯します。
- チャイルドロックをセットするとすべての操作ができません。

2 解除するときは、再度
○を約3秒間押す。

チャイルドロック
(3秒押し)

- チャイルドロックランプが消灯します。

お知らせ

- 運転するときは必ずルーバーを開けてください。
- 電源プラグを抜くと、運転切換・タイマー・明るさ切換・チャイルドロックの設定は、全て初期設定に戻ります。

使いかた

タイマー予約

12時間の範囲でご希望の時間に運転を開始または停止します。

入タイマー：設定した時間後に運転を開始します。

切タイマー：設定した時間後に運転を停止します。

タイマー予約は、運転中、停止中どちらでもできます。入・切タイマーの同時予約はできません。

1 ○ **を押す。**
タイマー切換

- 入タイマー ➡ 切タイマー ➡ 解除 の順に設定が変わり、デジタル表示部に残時間が表示されます。

2 **残時間を変更したいときは**
○ **を押す。**
運転切換（時間設定）

- 1時間単位で残時間を変更できます。 1 ➡ 2 ➡ 3 ➡ … ➡ 11 ➡ 12
- ○（タイマー切換）または、○（運転切換（時間設定））の操作終了から約5秒後に、入タイマーランプまたは切タイマーランプが点滅から点灯に変わり、タイマーが予約されます。デジタル表示部は湿度表示または消灯に戻ります。

3 **解除するときは**
○ **を1～3回押す。**
タイマー切換

- 入タイマー ランプおよび 切タイマー ランプの両方が消灯します。

お知らせ

- **タイマー予約中は、現在湿度および全てのランプは暗めの設定となります。**
  ただし、運転中（おやすみは除く）に入タイマー予約をしてから、運転停止するまでは、暗めの設定にはなりません。

タイマー予約中の残時間の確認・変更

4 **タイマー予約中に**
○ **を押す。**
タイマー切換

- 入タイマー ランプまたは 切タイマー ランプが点滅になり、デジタル表示部に残時間が表示されます。

5 **残時間を変更するときは**
○ **を押す。**
運転切換（時間設定）

- 1時間単位で残時間を変更できます。
- 時間を変更しなかった場合は、以前の設定が継続されます。

タンクの除菌水がなくなると

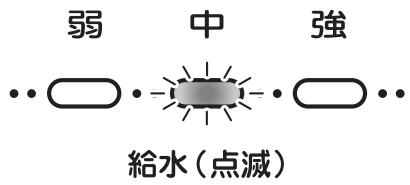
タンクの除菌水がなくなると、自動的に運転を停止し、給水ランプ**（全てが点滅）とメロディ**でお知らせします。

⇩

タンクに除菌水を給水（給水方法：5ページ 弱酸性次亜塩素酸除菌水で清潔加湿 参照）し、本体にセットしてください。自動的に運転を再開します。

次の場合は（中）ランプのみの点滅となります。

1. 切タイマー予約中のとき（メロディは鳴りません） ☞ P11
2. ランプの明るさを暗めの設定にしたとき ☞ P12
   （メロディは鳴りません）



ランプの明るさと設定について

デジタル表示部（現在湿度）および全てのランプの明るさは、暗めの設定に変更することができます。

運転中に 明るさ切換 を押してください。

解除するときは、再度 明るさ切換 を押してください。

メロディの消しかた

タンクの水がなくなった時にお知らせするメロディを消すことができます。

運転停止中に リセット（3秒押し） と チャイルドロック（3秒押し） を同時に約3秒間押してください。

なお、この設定は電源プラグを抜いても解除されません。解除するときは、再度同じ操作をしてください。

お知らせ

- 給水のメロディは、約6秒間鳴ります。途中でメロディを止めたいときは、運転スイッチを押してください。
  （この時、給水ランプも消えます）
- 運転中以外でも、電源プラグを抜きますと、お手入れの時期を正しくお知らせすることができません。
  移動などのために一時的に電源プラグを抜く時や、長期間使用しない場合を除いて、
  電源プラグは抜かないでください。

24時間連続運転後の操作

24時間連続運転後は運転（ファン停止）を停止し、（中）ランプのみ点灯します。
運転スイッチを押していただくと、（中）ランプが消え、操作部の全ての表示は消灯します。
もう一度、運転スイッチを押すと、運転を再開します。

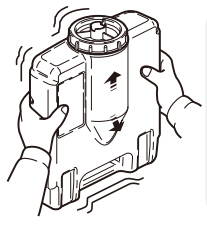
お手入れのしかた

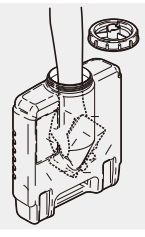
お手入れは定期的に行ってください。汚れがひどくなると除菌水の消費量の低下や故障・悪臭の原因になります。

⚠注意 お手入れのときは電源プラグを抜く。タンク、本体のお手入れには塩素系タイプの洗浄剤や化学薬品は使用しない

タンクのお手入れ（毎日）

少量の水を入れ、キャップをしめて振り洗いをし、常に清潔にしてください。給水は必ず除菌水（弱酸性次亜塩素酸水20ppm～200ppm）を使用してください。





汚れがひどい場合はタンクの中を直接洗うこともできます。

※ネジの端面などで手をケガしないようゴム手袋の着用をお勧めします。

本体のお手入れ（汚れたら）

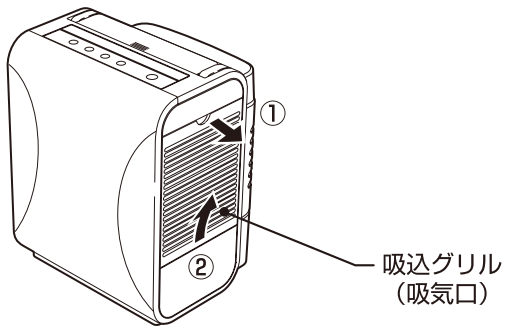
- 水に浸した柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、固くしぼってから汚れを拭きとった後、水ぶきをしてください。

お願い

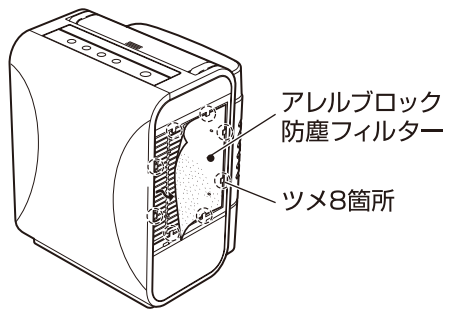
- 変形、変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルカリ洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

アレルブロック防塵フィルターのお手入れ（1週間に1～2回）

1 吸込グリルの上下を①、②の順で手前に引いてはずす。



2 本体吸込グリルのツメからアレルブロック防塵フィルターをはずす。



3 掃除機でほこりを取り除く。アレルブロック防塵フィルターを傷付けたり、吸い込まないように、掃除機は弱でご使用いただくなど注意してください。

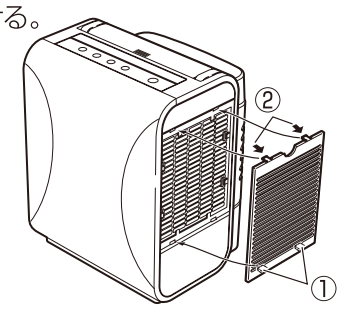
※使い続けるうちに変色することがありますが、使用上の不具合はありません。

※水洗いはしないでください。縮んだり、やぶけたりする場合があります。

4 アレルブロック防塵フィルターを元に戻し吸込グリルを取り付ける。

①下側のツメ2箇所を先に差し込む

②上側のツメ2箇所を押し込む



お願い

- アレルブロック防塵フィルターの汚れがひどくなると除菌水の消費量が少なくなったり、正しく湿度表示ができなくなります。1週間に1～2回は必ずお手入れをしてください。
- アレルブロック防塵フィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。
- アレルブロック防塵フィルターを破損などにより注文される場合には、お買上げの販売店、または「総合相談窓口」（☞ P18）にご依頼ください。

お手入れランプが点滅したら（2週間に1回程度）

電源プラグを差し込んでから、およそ2週間経過するとお手入れランプが点滅して、アレルブロック除菌フィルターと除菌水受け皿のお手入れ時期をお知らせします。

※お手入れランプが点滅しても運転は停止しません。

1 電源プラグを抜く

電源コードを束ねて、付属のバンドで固定してください。

2 アレルブロック除菌フィルターを取り出す

右図の①～③の手順にしたがってアレルブロック除菌フィルターを取り出してください。

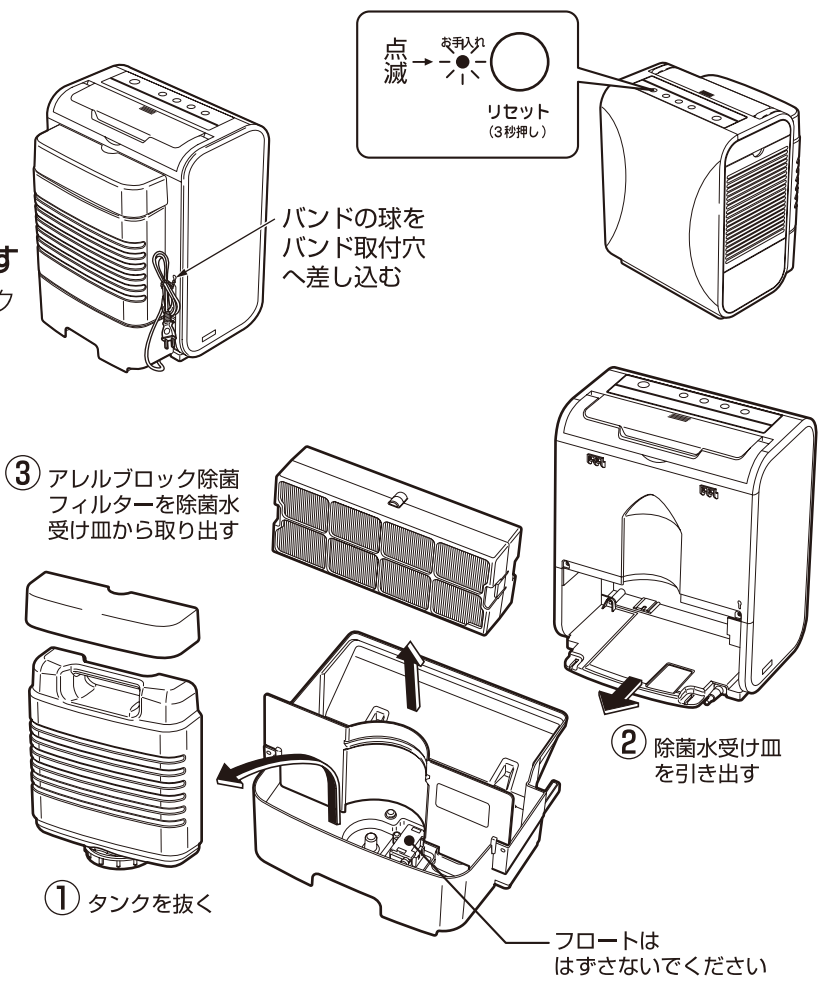
※アレルブロック除菌フィルターは多量の水分を含んでいますので水がたれないようにご注意ください。

3 アレルブロック除菌フィルターをお手入れする ☞P15

4 除菌水受け皿に残った除菌水を排水する

5 除菌水受け皿をお手入れする

水に浸した柔らかい布で水あか等の汚れを取り除いてください。



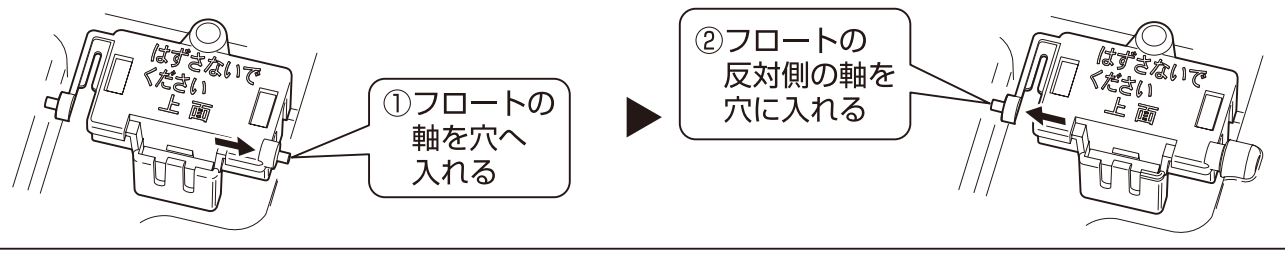
6 部品を元どおりセットする

お手入れが終わったら部品を元どおりにセットし、電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

7 お手入れランプをリセットする

お手入れランプリセットスイッチを約3秒間押してください。お手入れランプが消灯します。

フロートがはずれたとき



お知らせ

- 使い続けるうちにアレルブロック除菌フィルターが変色しますが、これは除菌水中の成分や空気中のほこり等によるものですので、使用上の不具合はありません。
- アレルブロック除菌フィルターの汚れ具合は、水質等の違いや地域によって異なります。また、使用頻度によっても異なりますので、お手入れランプはめやすとしてご利用ください。
- アレルブロック除菌フィルターにほこりが多く付着すると、カビが発生しやすくなります。こまめに洗浄し、汚れがひどい場合は別売品の交換用アレルブロック除菌フィルター・防塵フィルターセットと交換してください。☞P16

お手入れのしかた

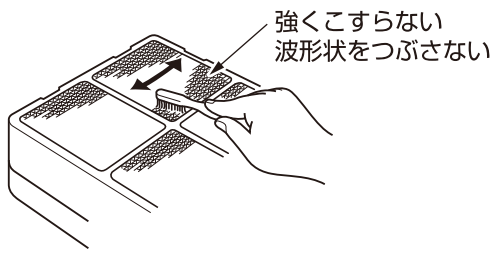
アレルブロック除菌フィルターのお手入れ

通常のお手入れ

アレルブロック除菌フィルターを水洗いしてください。

① アレルブロック除菌フィルターをケースごと容器の中ですすぎ洗いしてください。

② アレルブロック除菌フィルターの表面についた水あかを歯ブラシ等で**軽く**こすり落としてください。



③ ①→②の手順を3～4回くり返してください。

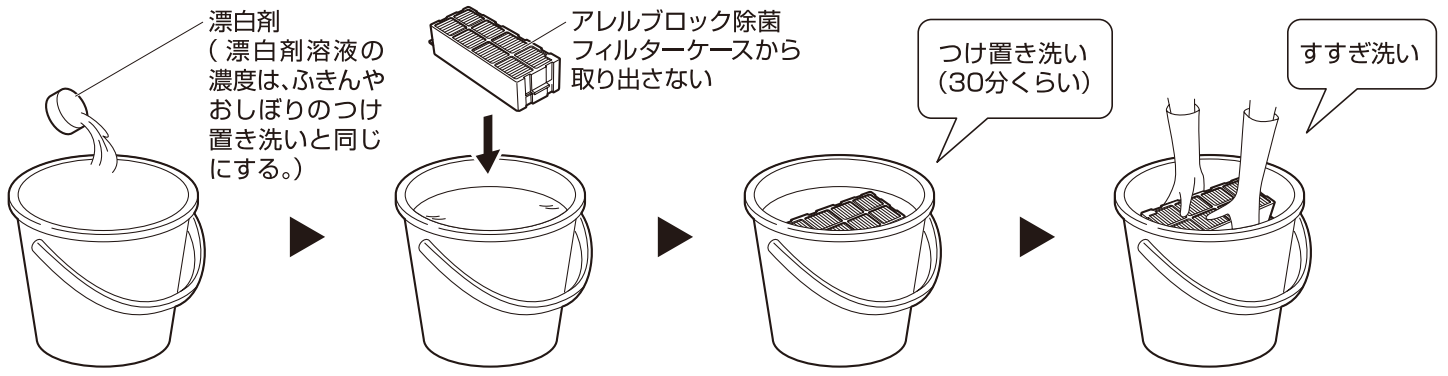
④ 最後に再び水ですすいでください。

汚れがひどい場合のお手入れ

アレルブロック除菌フィルターを市販の塩素系台所用漂白剤で、つけ置き洗いしてください。

① アレルブロック除菌フィルターをケースごと漂白剤溶液に30分くらい浸してください。

② つけ置き後は漂白剤溶液分が残らないように水で充分にすすいでください。



※台所用漂白剤でつけ置き洗いをしても、水道水中の不純物（鉄・カルシウム・マグネシウム等）によるアレルブロック除菌フィルターの変色や硬化は元には戻りません。

お知らせ

- **アレルブロック除菌フィルターの洗浄には、絶対に塩素系台所用漂白剤以外の洗剤やクエン酸は使わないでください。除菌の効果がなくなります。また、異なる種類の漂白剤は混ぜないでください。**

アレルブロック除菌フィルターの交換のしかた

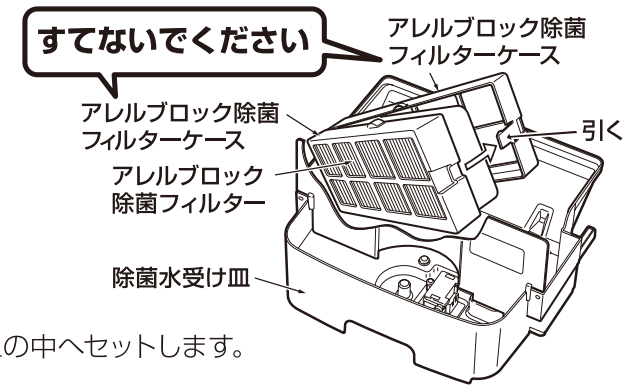
- **交換時期のめやすは、約12カ月（1日8時間運転の場合）です。**
- **使用条件（水質や使用時間など）によって交換時期は異なります。**
- **次のような状態になったときは、交換してください。**
  - お手入れをしても、においや水あかが取れないとき。
  - 傷みや型くずれがひどいとき。
  - タンクの除菌水の減りが極端におそくなったとき。
- **中身のアレルブロック除菌フィルターのみを交換し、アレルブロック除菌フィルターケースは続けてお使いください。**
- **アレルブロック除菌フィルターは多量の水分を含んでいます。取り出すときは、水がたれますので除菌水受け皿または容器の中で作業をしてください。**

アレルブロック除菌フィルターの交換

1. 14ページの『お手入れランプが点滅したら』を参照し、アレルブロック除菌フィルターを取り出します。
2. 右図アレルブロック除菌フィルターケースの矢印部ツメをはずし、アレルブロック除菌フィルターケースをはずしてください。

※ケースは前後共通です。

3. 中身のアレルブロック除菌フィルターを取り出します。
4. 別売品のアレルブロック除菌フィルターを袋から出して片方のアレルブロック除菌フィルターケースに収めます。
5. もう片方のアレルブロック除菌フィルターケースを取り付けます。
6. 除菌水受け皿に残った水を排水します。
7. アレルブロック除菌フィルターケースを元どおりに、除菌水受け皿の中へセットします。



お願い

- 使用済みのアレルブロック除菌フィルターは、水をよく切ってから不燃ゴミとして捨ててください。

交換用アレルブロック除菌フィルター・防塵フィルターセット

機種名	品番	価格（税込）
SVW-AQA1000	SVW-FS01	4,200円

2013年9月現在の価格です。

アレルブロック除菌フィルター・防塵フィルターセットは別売品となっております。
お買いあげの販売店でご購入ください。

保　管（長期間使用しないとき）

1. 電源プラグを抜く

2. お手入れをする

- 13〜15ページの『お手入れのしかた』にしたがって、掃除をした後、**各部の水気をよく拭き取り、じゅうぶん乾燥させてください。**

※湿ったまま保管するとカビが発生する原因になります。特にアレルブロック除菌フィルターは、水をよく切った上で下記3.の『フィルター乾燥運転』を行い、**じゅうぶんに乾燥させてください。**

3. フィルター乾燥運転を行う（運転スイッチは入れないでください）

- タンク、および除菌水受け皿の水をすててください。
- 電源プラグを入れてください。
- 水をよく切ったアレルブロック除菌フィルターをトレイに戻し、本体にセットします。
- ルーバーを押して開く。
- 明るさ切換スイッチを約3秒間押し続けると、（中）ランプとお手入れランプが交互に点灯し、フィルター乾燥運転に入ります。

※フィルター乾燥運転は、約2時間で自動的に終了します。

- 電源プラグを抜いてください。

4. 湿気の少ないところに保管する

- 除菌水専用空間清浄システム加湿機能付き JBOYの入っていた箱に入れるか、ポリ袋に入れて湿気の少ないところに保管してください。

お願い

- フィルター乾燥運転をしてもアレルブロック除菌フィルターの乾燥が不十分なときは、もう一度フィルター乾燥運転を行ってください。

故障かな？と思ったら

⚠警告

分解修理・改造の禁止

● 分解修理・改造はしないでください。**火災・感電・けがの原因になります。**

エラーのお知らせ（デジタル表示とブザー音でお知らせします。）

エラー表示	原　因	処　置　方　法
HA HC Hd AB HE AC	器具の故障	運転スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、 お買いあげの販売店にご連絡ください。

次の状態は故障ではありません

分解修理を依頼される前に、次のことをもう一度ご確認ください。それでもなおらない場合は、電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店または、「総合相談窓口」（☞P18）へご連絡ください。

症　状	原　因	処　置　方　法
運転スイッチを入れても 全てのランプが点灯しない	電源プラグがコンセントからはずれて いませんか	電源プラグを根元まで確実に差し込み、運転スイッチを 入れてください。 ☞P9~10
給水ランプが点滅している	タンクに除菌水が入っていない	タンクに除菌水を入れてください。 ☞P12
給水ランプが点灯して 運転が停止している	24H以上連続で運転している	タンク、および除菌水受け皿に残っている除菌水を 廃棄し、新しい除菌水を入れてください。 ☞P9 運転スイッチを入れ直してください。 運転を開始します。 ☞P10
タンクに除菌水が入って いるのに給水ランプが 点滅している	除菌水受け皿が確実にセットされていますか	除菌水受け皿を確実にセットしてください。 ☞P14
	フロートが引っ掛かっていませんか	フロートの周りのごみを取り除いてください。☞P14
	本体が傾いていませんか	水平で安定したところに設置してください。
吹出口からの送風がにおう	古い除菌水や水道水、アルカリイオン水 などのまま使用していませんか	「お手入れのしかた」にしたがって、器具の掃除をし、 新しい除菌水と入れ替えてください。 ☞P13~15
	アレルブロック除菌フィルターや除菌水受け 皿に水あかやごみがたまっていませんか	
塩素の臭いがする	弱酸性次亜塩素酸除菌水の特性です。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。 臭いが気になる場合は除菌水の濃度を薄めるか、 運転を弱めてお使いください。
現在湿度表示が他の 湿度計の値と違う	アレルブロック防塵フィルターに ゴミがたまっていませんか	アレルブロック防塵フィルターを掃除してください。 また、同じ部屋でも場所によって湿度は異なるため、 差が出る場合があります。 ☞P13
	運転開始直後に正しい湿度が表示できない 場合があります	約20分たってから再度、確認してください。
	窓際など外気の影響を受けやすい場所に 設置していませんか	外気の影響を受けにくい場所に 設置してください。 ☞P5
「ポコ」「ポコ」音がする	タンクから給水する音です	故障ではありませんのでそのままご使用してください。

アフターサービス

保証書について

取扱説明書の裏表紙に付いています。所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ保存してください。

保証期間はお買いあげの日より1年間です。

- 保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買いあげの販売店、または「総合相談窓口」にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修用性能部品の保有期間について

除菌水専用空間清浄システム 加湿機能付きの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、6年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

総合相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

総合相談窓口でお受けした、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客様が当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客様のお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

〈利用目的〉

- 総合相談窓口でお受けした個人情報は商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために(株)シリウスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報の取り扱いについての詳細は、
ホームページ http://www.sirius-agent.co.jpをご覧ください。

ご相談や修理は

(株)シリウス総合相談窓口

受付時間：月曜日～金曜日 10：00～17：30
（日曜日、祝日、当社休日を除く）
総合相談窓口　0120-91-4649（ヨロシク）

修理や部品に関するご相談は、お買いあげの販売店、または、上記相談窓口にご依頼ください。

●故障修理を依頼されるときは

次の事項をご連絡ください

①故障の状況
②品番（SVW-AQA1000）
③製造番号（本体左側面のラベルに記入してあります）
④お買いあげ年月日
⑤おなまえ、おところ、電話番号

※故障修理を依頼されるときは、アレルブロック除菌フィルターを取りはずしてください。取りはずしたアレルブロック除菌フィルターは、乾燥させてから保管してください。

●お客さまメモ

アフターサービスのご連絡に便利です。

お買いあげ年月日	年　月　日
お買いあげ販売店 電話（　　）　—	
担　当	

仕　様

特定地域（高地、極寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります。

品番				SVW-AQA1000
使用水				20ppm～200ppmの弱酸性次亜塩素酸水
製品能力	加湿量（室温20℃、湿度30%）		強運転時	約730mL／h
			中運転時	約500mL／h
			弱運転時	約200mL／h
	連続加湿時間		強運転時	約6時間
			中運転時	約9時間
			弱運転時	約22時間
	適用床面積（めやす）	加湿	洋室（プレハブ）	20畳（33m²）
			和室（木造）	12畳（20m²）
		除菌	洋室（プレハブ）	30畳（50m²）
			和室（木造）	18畳（30m²）
	タンク容量			約4.5L
電気特性	電源			単相100V　50／60Hz
	定格消費電力 50／60Hz		強運転時	36／36W
			中運転時	14／14W
			弱運転時	3／3W
	電源コード			1.2m
	外形寸法（幅・奥行・高さ）			320mm・280mm・400mm
質量				5.4kg
別売品				交換用アレルブロック除菌フィルター・防塵フィルターセット　SVW-FS01　4,200円（税込）

※加湿の適用床面積（めやす）は、日本電機工業会規格（JEM 1426）に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用床面積とし木造和室の場合を最小適用床面積としたものです。ただし、壁・床の材質・部屋の構造・使用暖房器具等によって適用床面積は異なりますので、販売店にご相談ください。

シリウス　除菌水専用空間清浄システム 加湿機能付き《保証書》　持込修理

品　番 SVW-AQA1000	製造番号
★お客さまお名前　　様	
★ご住所　〒　　★電話番号（　　）　-	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買いあげの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。

保証期間 ※お買いあげ日　　年　　月　　日 **本　体　　1年間** **（アレルブロック除菌フィルター、アレルブロック防塵フィルターを除く）**	※取扱販売店名　　住所　　電話番号

★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   - ロ. お買いあげ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   - ニ. 車両・船舶への搭載や喫煙ルームなど劣悪な環境下にて使用された場合の故障または損傷。
   - ホ. 本書の提示がない場合。
   - ヘ. 本書にお買いあげ年月日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   - ト. 弱酸性次亜塩素酸水20ppm～200ppm以外の液体や、他の物質を添加して使用し、故障した場合。
2. 保証期間内でも商品を「総合相談窓口」（☞P18）へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料はお客さまのご負担となります。
3. ご贈答品等で本書に記入してあるお買いあげの販売店に修理をご依頼になれない場合には、「総合相談窓口」（☞P18）をご覧のうえ、お問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買いあげの販売店または「総合相談窓口」（☞ P18）にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、アフターサービス ☞ P18をご覧ください。

株式会社シリウス

愛情点検　長年ご使用の除菌水専用空間清浄システム 加湿機能付きの点検を！

こんな症状はありませんか
- 水もれする
- コードやプラグが異常に熱い
- こげくさい臭いがする

→ **使用中止**　故障や事故の防止のため必ず販売店、または「総合相談窓口」（☞P18）に点検をご相談ください。

販売元
株式会社シリウス　〒110-0015　東京都台東区東上野1-14-9　中島ビル3階

製造元
テクノプラスジャパン株式会社　〒103-0024　東京都中央区日本橋小舟町12-7　日本橋MMビル5F

この商品は海外では使用できません。（FOR USE IN JAPAN ONLY）

Z268P020000